

技術図書に関する質問に対する回答

件名 長野自動車道 山崎高架橋耐震補強工事				
番号	質問対象	質問箇所	質問事項	回答（発注者使用欄）
1	特記仕様書	23. 割掛対象表の項目に示す工事の内容 【共有仮設費】	鉄筋位置調査工A、鉄筋位置調査工A（夜1）、鉄筋位置調査工B及び鉄筋位置調査工Cについて、非破壊検査の工法、使用機器の仕様をご教示願います。	コンクリート施工管理要領をご確認下さい。
2	特記仕様書	22-6-1 縁端拡幅工、 22-6-2 落橋防止構造、 22-6-3 横変位拘束構造M、 及び22-13 横変位拘束構造RC ブロック	特記仕様書各項目の種別に記載のアンカー工について、削孔方法に指定はありますでしょうか。	貴社の施工計画に基づきお考えください。
3	特記仕様書	P21 構造物掘削 特殊部A(夜1) P4 作業時間	この工種の(夜2)作業時間は特記P4に示されているとありますが、実作業時間は以下のうちのいずれでしょうか。 ①線路閉鎖時間：0：25～4：15 ②停電手続き15分+実作業時間150分+復電手続き15分=180分 ③実作業時間150分 ④その他 ④その他の場合は具体的な実作業時間をご教示願います。	(夜2)の実働時間は、①線路閉鎖時間：0：25～4：15を想定しております。
4	特記仕様書	P24 落橋防止構造 P1-a(b)(夜1)・アンカー工φa・L(b)(夜1) P38 上部工補強工 A2(夜1) P41 塗膜除去工 A(夜1) P4 作業時間	これらの工種の(夜1)作業時間は特記P4に示されているとありますが、実作業時間はそれぞれ、以下のうちのいずれでしょうか。 ①線路閉鎖時間：0：25～4：15 ②停電手続き15分+実作業時間150分+復電手続き15分=180分 ③実作業時間150分 ④その他 ④その他の場合は具体的な実作業時間をご教示願います。	(夜1)の実働時間は、③実作業時間150分を想定しております。
5	特記仕様書	P4 作業時間	(夜1)(夜2)の作業時間は割掛にも適用されていますが、割掛項目においての実作業時間は(夜1)(夜2)それぞれ、以下のうちのいずれでしょうか。 ①線路閉鎖時間：0：25～4：15 ②停電手続き15分+実作業時間150分+復電手続き15分=180分 ③実作業時間150分 ④その他 ④その他の場合は具体的な実作業時間をご教示願います。	(夜1)の実働時間は、③実作業時間150分を想定しております。 (夜2)の実働時間は、①線路閉鎖時間：0：25～4：15を想定しております。
6	特記仕様書	P24 落橋防止構造 P29 横変位拘束構造M P38 上部工補強工	左記のブラケットの鋼板製作物の歩掛は、それぞれ以下のうちいずれを想定されているでしょうか。 ①縁端拡幅工Mの製作費(鋼上部工工事以外) ②一般鉄骨部材の製作 ③その他 ③その他の場合は歩掛の準用基準をご教示願います。	発注者の積算は、①縁端拡幅工Mの製作費(鋼上部工工事以外)を想定しております。
7	設計図	P24 落橋防止構造 P29 横変位拘束構造M P38 上部工補強工	左記のブラケットの鋼板製作歩掛において、一発注工事の全体鋼材質量を入力する際、対象となる鋼材は下記のうちいずれでしょうか。 ①全種の歩掛の合計鋼材 ②歩掛ごとの鋼材 ③その他 ③その他の場合には、具体的な内容をご教示願います。	発注者の積算は、③対象工事の鋼材全質量を想定しております。

技術図書に関する質問に対する回答

件名 長野自動車道 山崎高架橋耐震補強工事				
番号	質問対象	質問箇所	質問事項	回答（発注者使用欄）
8	設計図	132/246 山崎高架橋 施工計画図(その1)(参考図)	図面中のクレーン装置付きトラック(4t積 2.9t吊)の使用工種は、下記のうちいずれでしょうか。 ①単価番号23・25 落橋防止構造 ②足場工D ③その他 ④その他の場合は工種名をご教示願います。	クレーン装置付きトラック(4t積 2.9t吊)の使用工種は、①単価番号23・25 落橋防止構造を想定しております。なお、本回答により契約上の工法を指定するものではありません。
9	設計図	132/246 山崎高架橋 施工計画図(その1)(参考図)	図面中のクレーン装置付きトラック(4t積 2.9t吊)の使用工種が、単価番号23・25 落橋防止構造である場合、想定されている歩掛の準拠基準は以下のうちいずれでしょうか。 ①ネクスコ「落橋防止装置取付工」P31-38 ②橋梁架設工事の積算「落橋防止装置取付④-1タイプ」P4-69 ③その他 ④その他の場合は歩掛名と出典元ををご教示願います。 また「クレーン装置付きトラック(4t積 2.9t吊)」の運転日数は、落橋防止装置4組に対して何日を想定されているかも、併せてご教示願います。	発注者の積算は、①土木工事積算基準第31編3-8(8)落橋防止装置取付工を想定しております。「クレーン装置付きトラック(4t積 2.9t吊)」の運転日数は貴社の施工計画に基づきお考え下さい。
10	設計図	132/246 山崎高架橋 施工計画図(その1)(参考図)	図面中のクレーン装置付きトラック(4t積 2.9t吊)の使用工種が、単価番号23・25 落橋防止構造である場合、計上されているのは以下のうちいずれでしょうか。 ①賃料のみ ②損料のみ ③「トラック(賃料)クレーン装置付・4t車2.9t吊」P5-1 ④その他 ④その他の場合は、具体的な計上内容をご教示願います。	貴社の施工計画に基づき必要な費用を計上して下さい。
11	設計図	132/246 山崎高架橋 施工計画図(その1)(参考図)	図面中のクレーン装置付きトラック(4t積 2.9t吊)の使用工種が、単価番号23・25 落橋防止構造である場合、計上日数は以下のうちいずれでしょうか。 ①落橋防止装置4組に対して1日 ②その他 ④その他の場合は、具体的な計上内容をご教示願います。	貴社の施工計画に基づき必要な費用を計上して下さい。
12	設計図	133/246 山崎高架橋 施工計画図(その2)(参考図)	図面中のクレーン装置付きトラック(4t積 2.9t吊)の使用工種は、下記のうちいずれでしょうか。 ①単価番号30・31 落橋防止構造 ②足場工A(夜2) ③単価番号4 構造物掘削 特殊部A(夜2) 「ライナープレート掘削土留 クレーン併用人力掘削」R2発進及び到達P138 + R2.10.22.12.8、R6.9.6正誤表 ④その他 ④その他の場合は工種名をご教示願います。	発注者の積算は、④その他(単価番号4 構造物掘削 特殊部A(夜2)に係るライナープレートの撤去)を想定しております。なお、本回答により契約上の工法を指定するものではありません。
13	設計図	135~137/246 山崎高架橋 施工計画図(その4・その5・その6)(参考図)	図面中のクレーン装置付きトラック(4t積 2.9t吊)の使用工種は、下記のうちいずれでしょうか。 ①単価番号27・29 落橋防止構造(夜1) ②単価番号30・31 落橋防止構造 ③移動足場工A(夜1) ④足場工B(夜2) ⑤その他 ④その他の場合は工種名をご教示願います。	発注者の積算は、 ①単価番号27・29 落橋防止構造(夜1) ②単価番号30・31 落橋防止構造 を想定しております。なお、本回答により契約上の工法を指定するものではありません。

技術図書に関する質問に対する回答

件名		長野自動車道 山崎高架橋耐震補強工事		
番号	質問対象	質問箇所	質問事項	回答（発注者使用欄）
14	設計図	132・133・135～137/246 山崎高架橋 施工計画図(その1・2・4～6)(参考図)	図面中のクレーン装置付きトラック(4t積 2.9t吊)の旗揚げにより、山崎高架橋の落橋防止構造の全てにおいて、この機材を使用すると考えて良いでしょうか。 ご教示願います。	貴社の施工計画に基づきお考え下さい。
15	設計図	138/246 山崎高架橋 施工計画図(その7)(参考図)	図面中の(13t吊)ラフタークレーンの旗揚げが、足場工C PB3にあります。(13t吊)ラフタークレーンについて、以下のどの解釈が正しいでしょうか。 ①PB3の足場工Cにのみ、4.9t吊の代わりに13t吊りを使用する ②足場工Cの全てにおいて、4.9t吊の代わりに13t吊りを使用する ③その他 その他の場合は、具体的な内容をご教示願います。	(13t吊)ラフタークレーンの使用工種は、③その他を想定しております。施工計画図上に記載のラフタークレーンはRC巻立ての資機材揚重を想定しております。 なお、本回答により契約上の工法を指定するものではありません。
16	設計図	241/246 千曲川橋 施工計画図(その1)(参考図)	図面中にクレーン装置付きトラック(4t積 2.9t吊)の旗揚げがあります。1期目においてこれを使う工種は下記の認識で良いでしょうか。 ①単価番号18 下り線 P9(A2側) 落橋防止構造 ②単価番号21 上り線 P9(A2側) 落橋防止構造 ③単価番号19 下り線 A2 落橋防止構造 ④単価番号24 上り線 A2 落橋防止構造 ⑤その他 ⑥その他の場合は工種名をご教示願います。	発注者の積算は、 ①単価番号18 下り線 P9(A2側) 落橋防止構造 ②単価番号21 上り線 P9(A2側) 落橋防止構造 ③単価番号19 下り線 A2 落橋防止構造 ④単価番号24 上り線 A2 落橋防止構造 を想定しております。なお、本回答により契約上の工法を指定するものではありません。
17	設計図	242/246 千曲川橋 施工計画図(その2)(参考図)	図面中にクレーン装置付きトラック(4t積 2.9t吊)の旗揚げがあります。2期目においてこれを使う工種は下記の認識で良いでしょうか。 ①単価番号22 下り線 P2(P1側) 落橋防止構造 ②単価番号38 上り線 P2(P1側) 横変位拘束構造M(鋼製ブラケット) ③単価番号51～54 上下線 A1 横変位拘束構造RCブロック ④その他 ⑤の場合は、具体的な使用目的を、⑥その他の場合は工種名を、併せてご教示願います。	発注者の積算は、 ①単価番号22 下り線 P2(P1側) 落橋防止構造 ②単価番号38 上り線 P2(P1側) 横変位拘束構造M(鋼製ブラケット) を想定しております。なお、本回答により契約上の工法を指定するものではありません。
18	設計図	241～242/246 千曲川橋 施工計画図(その1・2)(参考図)	図面中のクレーン装置付きトラック(4t積 2.9t吊)の旗揚げにより、千曲川橋の落橋防止構造の全てにおいて、この機材を使用すると考えて良いでしょうか。 ご教示願います。	貴社の施工計画に基づきお考え下さい。
19	設計図	241～243/246 千曲川橋 施工計画図(その1・2・3)(参考図)	図面中に(13t吊)ラフタークレーンの旗揚げが、あります。(13t吊)ラフタークレーンについて、以下のどの解釈が施工計画に沿っているでしょうか。 ①単価番号8 鉄筋工 T1 の揚重作業に使用 ②単価番号9 鉄筋工 T2 の揚重作業に使用 ③単価番号50 中間貫通鋼材工 礎着鋼材の揚重作業に使用 ④その他 ⑤その他の場合は、具体的な工種内容をご教示願います。	241～243/246 千曲川橋 施工計画図(その1・2・3)(参考図)には、(13t吊)ラフタークレーンの旗揚げは記載しておりません。

技術図書に関する質問に対する回答

件名		長野自動車道 山崎高架橋耐震補強工事		
番号	質問対象	質問箇所	質問事項	回答（発注者使用欄）
20	設計図	134/246 山崎高架橋 施工計画図(その3)(参考図)	1. 構造物掘削 特殊部A(夜2)【線路閉鎖作業】①土留ライナープレート1段目掘削、組立設置作業、に「0.2m3バックホウ(クレーン付)+人力で掘削」と旗揚げがあります。 この歩掛の準用には以下のいずれを想定しているのでしょうか。 ①ネクスコ「小規模機械構造物掘削(現場処理)」P8-14と「人力構造物掘削(現場処理)」P8-21の組合せ ②下水道「ライナープレート掘削土留 クレーン併用人力掘削」R2発進及び到達P138 + R2.10.22、12.8、R6.9.6正誤表で、内訳の「トラック(クレーン装置付)運転」を0.2m3BHに変更 ③その他 ④その他の場合は採用基準をご教示願います。	貴社の施工計画に基づき必要な費用を計上して下さい。
21	設計図	134/246 山崎高架橋 施工計画図(その3)(参考図)	3. 構造物掘削 特殊部A(夜2)【線路閉鎖作業】①埋戻し、撤去施設の原形復旧作業、に「0.2m3バックホウ+人力」と旗揚げがあります。 この歩掛の準用には以下のいずれを想定しているのでしょうか。 ①ネクスコ歩掛 ②国交省歩掛 ③下水道歩掛 ④その他 ⑤の場合は「埋戻し工(機械投入・タンパ締固め)(バックホウ)」R2発進及び到達P527 でしょうか。④その他の場合は歩掛と出典元を、併せてご教示願います。	貴社の施工計画に基づき必要な費用を計上して下さい。
22	特記仕様書	P35 交通保安要員 P4 作業時間	交通誘導警備員B(夜1)の配置時間は、P4の作業時間を見ると「停電手続き15分+実作業時間150分+復電手続き15分=180分」となっています。 交通誘導警備員B(夜1)の実労働時間は以下のいずれでしょうか。 ①停電手続き15分+実作業時間150分+復電手続き15分=180分 ②実作業時間150分 ③その他 ④その他の場合は具体的な勤務時間をご教示願います。	交通誘導警備員B(夜1)の実働時間は、①停電手続き15分+実作業時間150分+復電手続き15分=180分を想定しております。
23	特記仕様書	P35 交通保安要員 P4 作業時間	交通誘導警備員B(夜2)の配置時間は、P4の作業時間を見ると「線路閉鎖時間：0：25～4：15」となっています。 交通誘導警備員Bの実労働時間は以下のいずれでしょうか。 ①停電手続き15分+実作業時間150分+復電手続き15分=180分 ②実作業時間150分 ③線路閉鎖時間：0：25～4：15 ④その他 ⑤その他の場合は具体的な勤務時間をご教示願います。	交通誘導警備員B(夜2)の実働時間は、③線路閉鎖時間：0：25～4：15を想定しております。
24	特記仕様書	P39～40 上部工補強工 作業内容	「上部工補強部材の架設」との記載がありますが、架設歩掛の準用は何を想定されているのでしょうか。 1部材の重量が重いものに際しても、併せてご教示願います。	発注者の積算は、土木工事積算基準第31編3-8(7)補強部材取付工を想定しております。
25	特記仕様書	P46 無収縮モルタル工	無収縮モルタル工の施工費はどのように計画されていますか。 ①NEXCO土木工事積算基準 耐震補強用モルタル充填工を準用 ②橋梁架設工事の積算 ③その他 ④その他の場合は歩掛と出典元を、併せてご教示願います。	発注者の積算は、①土木工事積算基準第32編9-8耐震補強用モルタル注入工を準用することを想定しております。

技術図書に関する質問に対する回答

件名		長野自動車道 山崎高架橋耐震補強工事		
番号	質問対象	質問箇所	質問事項	回答（発注者使用欄）
26	特記仕様書	P47 鉄道保安要員 列車見張員A	配置時間が9:00～17:00となっており、休憩時間の有無の記載がありません。これは、実働8hと見て良いのでしょうか。 ご教示願います。	交替要員無しの実働7hとお考え下さい。
27	特記仕様書	P47 鉄道保安要員 列車見張員(夜1) P4 作業時間	列車見張員(夜1)の配置時間は、P4の作業時間を見ると「停電手続き15分+実作業時間150分+復電手続き15分=180分」となっています。 列車見張員(夜1)の実労働時間は以下のいずれでしょうか。 ①停電手続き15分+実作業時間150分+復電手続き15分=180分 ②実作業時間150分 ③その他 ④その他の場合は具体的な勤務時間をご教示願います。	列車見張員(夜1)の実働時間は、①停電手続き15分+実作業時間150分+復電手続き15分=180分を想定しております。
28	特記仕様書	P47 鉄道保安要員 列車見張員(夜2) P4 作業時間	列車見張員(夜2)の配置時間は、P4の作業時間を見ると「線路閉鎖時間：0:25～4:15」となっています。 列車見張員(夜2)の実労働時間は以下のいずれでしょうか。 ①停電手続き15分+実作業時間150分+復電手続き15分=180分 ②実作業時間150分 ③線路閉鎖時間：0:25～4:15 ④その他 ④その他の場合は具体的な勤務時間をご教示願います。	列車見張員(夜2)の実働時間は、③線路閉鎖時間：0:25～4:15を想定しております。
29	特記仕様書	P47 鉄道保安要員 線閉(線路閉鎖工事)責任者A(夜1) P4 作業時間	(夜1)の配置時間は、P4の作業時間を見ると「停電手続き15分+実作業時間150分+復電手続き15分=180分」となっています。 線閉(線路閉鎖工事)責任者A(夜1)の実労働時間は以下のいずれでしょうか。 ①停電手続き15分+実作業時間150分+復電手続き15分=180分 ②停電手続き15分+復電手続き15分=30分 ③その他 ④その他の場合は具体的な勤務時間をご教示願います。	線閉(線路閉鎖工事)責任者A(夜1)の実働時間は、①停電手続き15分+実作業時間150分+復電手続き15分=180分を想定しております。
30	特記仕様書	P47 鉄道保安要員 線閉(線路閉鎖工事)責任者A(夜2) P4 作業時間	(夜2)の配置時間は、P4の作業時間を見ると「線路閉鎖時間：0:25～4:15」となっています。 線閉(線路閉鎖工事)責任者A(夜2)の実労働時間は以下のいずれでしょうか。 ①停電手続き15分+実作業時間150分+復電手続き15分=180分 ②実作業時間150分 ③停電手続き15分+復電手続き15分=30分 ④線路閉鎖時間：0:25～4:15 ④その他 ④その他の場合は具体的な勤務時間をご教示願います。	線閉(線路閉鎖工事)責任者A(夜2)の実働時間は、③線路閉鎖時間：0:25～4:15を想定しております。
31	特記仕様書	P54 工事用道路費	工事の内容に「1非出水期ごとに工事用道路の撤去を行うものとし、その撤去費用も含むものとする。」とあります。これは、3回とも原状復旧する、の意味でしょうか。 ご教示願います。	そのとおりとお考え下さい。

技術図書に関する質問に対する回答

件名		長野自動車道 山崎高架橋耐震補強工事		
番号	質問対象	質問箇所	質問事項	回答（発注者使用欄）
32	特記仕様書	P54 工事用道路費	1期目の新設については、下記のいずれの解釈が正しいでしょうか。 ①工事用道路④-1で切土した土のうち、工事用道路⑤-1と⑥に盛土した残りの土は、参考図9/30の構造物掘削土仮置場に運搬、敷均し ②工事用道路④-1で切土した土のうち、工事用道路⑤-1と⑥に盛土した残りの土は、④-1の周辺に仮設盛土（はねつけ）する ③その他 ③その他の場合は具体的な施工計画をご教示願います。	割掛対象表参考内訳書に関するご質問はお答えできません。
33	特記仕様書	P54 工事用道路費	2期目の新設については、下記のいずれの解釈が正しいでしょうか。 ①工事用道路④-2・⑦-2の切土では足りない工事用道路⑥・⑦-2の盛土は、⑥・⑦-2の周辺の河床土を流用する ②その他 ②その他の場合は具体的な施工計画をご教示願います。	割掛対象表参考内訳書に関するご質問はお答えできません。
34	特記仕様書	P54 工事用道路費	3期目の新設については、下記のいずれの解釈が正しいでしょうか。 ①切土がないので、工事用道路⑥・⑦-3の盛土は、⑥・⑦-3の周辺の河床土を流用する ②その他 ②その他の場合は具体的な施工計画をご教示願います。	割掛対象表参考内訳書に関するご質問はお答えできません。
35	特記仕様書	P54 作業ヤード整備費A	参考図9～11/30に「補強工完了後、撤去・埋戻し、原形復旧」とあります。作業ヤード整備費Aにかかる費用は、原形復旧まで、と考えて良いでしょうか。 ご教示願います。	そのとおりお考え下さい。
36	特記仕様書	P54 作業ヤード整備費A	大型土のう袋の撤去ですが、処分場への運搬処分を見込んでおられるでしょうか。その場合、想定されている処分場がありましたら、併せてご教示願います。	発注者の積算は、作業ヤード整備費Aに含むことを想定しております。なお、処分場は貴社の施工計画に基づきお考え下さい。
37	特記仕様書	P55 鉄筋養生工費	鉄筋被覆材（発泡剤・ビニール被覆）の設置撤去の歩掛と単価の出典元はどちらでしょうか。 ご教示願います。	貴社の施工計画に基づき必要な費用を計上して下さい。
38	特記仕様書	構造物掘削 普通部 B 1	千曲川橋P8橋脚の掘削土は、作業ヤードA（2期目）に流用し、補強完了後に埋戻しすると考えてよろしいでしょうか。	千曲川橋P8橋脚の掘削土は、掘削箇所近傍へはねつけし、次出水期前までに埋め戻しを行うものとお考え下さい。
39	特記仕様書	構造物掘削 普通部 B 2	千曲川橋P7橋脚の掘削土は、作業ヤードA（1期目）に流用し、補強完了後に埋戻しすると考えてよろしいでしょうか。異なる場合、作業ヤードA（1期目）の盛土材流用元をご教示願います。	設計書（金抜）及び設計図に誤りがございました。千曲川橋P7橋脚の掘削土は、掘削箇所近傍へはねつけし、次出水期前までに埋戻しを行うものとお考え下さい。上記については交付図書を訂正いたします。
40	特記仕様書	構造物掘削 普通部 B 2	千曲川橋P5橋脚、P6橋脚の掘削土は、土砂仮置場へ運搬、敷均し、補強完了後に運搬、埋戻しすると考えてよろしいでしょうか	設計書（金抜）及び設計図に誤りがございました。千曲川橋P5橋脚の掘削土は、土砂仮置場へ運搬、敷均し、P6橋脚の掘削土は掘削箇所近傍へはねつけをし、次出水期前までに運搬、埋戻しするものとお考え下さい。上記については交付図書を訂正いたします。

技術図書に関する質問に対する回答

件名		長野自動車道 山崎高架橋耐震補強工事		
番号	質問対象	質問箇所	質問事項	回答（発注者使用欄）
41	特記仕様書	塗膜除去工	22-16-6に塗膜剥離剤による除去後、乾式ブラストによる素地調整と記載されています。また、落橋防止構造22-6-2-4（5）の素地津調整欄にも同じ内容の記載が有ります。ここでは塗膜除去工の内容を記載していると考えてよろしいでしょうか。	特記仕様書の記載内容に誤りがございました。素地調整については、22-16塗膜除去工では計上されないものとお考え下さい。上記については交付図書を訂正いたします。
42	特記仕様書	落橋防止構造	22-6-2-2作業内容9）素地調整は現場での素地調整と考え、22-6-2-4）6）素地調整のうち4種を計上、1種は塗膜除去工に計上していると考えてよろしいでしょうか。	落橋防止構造に関わる素地調整1種及び4種は、落橋防止構造の単価項目に含むものとお考え下さい。
43	特記仕様書	交通保安要員	土木工事積算基準第25編交通規制、9労務費の算出（10）において「一般管理費等の算定にのみ全額を対象として扱う」とされています。手当等の「労務賃金×0.6413」は単価に含まれると考えてよろしいでしょうか。	そのとおりとお考え下さい。
44	特記仕様書	鉄道保安要員	鉄道保安要員の単価はどのように計画されていますか。 ①交通保安要員と同様（一般管理費の算定にのみ全額を対象） ②一般労務費と同様（間接費全て対象） ③その他（内容をご教示願います）	発注者の積算は、②一般労務費と同様（間接費全て対象）を想定しております。
45	割掛対象表	剥離剤用環境対策資機材費A	山崎高架橋（上り線）CA3橋台、PA0橋脚、（下り線）CB2橋台、CB3橋台、CB4橋台、PB1橋脚の6箇所と記載されています。どちらでしょうか。 ①設置期間 1ヶ月の数量×6箇所 ②設置期間 1ヶ月の数量（6箇所含む）	割掛対象表参考内訳書に関するご質問はお答えできません。
46	割掛対象表	剥離剤用環境対策資機材費B	千曲川橋（上下線）P9橋脚、A2橋台の2箇所と記載されています。どちらでしょうか。 ①設置期間 1ヶ月の数量×2箇所 ②設置期間 1ヶ月の数量（2箇所含む）	割掛対象表参考内訳書に関するご質問はお答えできません。
47	割掛対象表	剥離剤用環境対策資機材費A・B	吊足場ではなく、足場工に設置すると考えてよろしいでしょうか。	発注者の施工計画では、そのとおりと考えております。
48	割掛対象表	工事用道路	工事用道路⑥に使用する盛土材は、P2橋脚からP4橋脚の掘削掘削仮置場から流用する計画でしょうか。	割掛対象表参考内訳書に関するご質問はお答えできません。なお、現場発生土や河床土は盛土材として流用できるものとお考え下さい。
49	割掛対象表	工事用道路	工事用道路⑥を撤去する盛土材は、P2橋脚からP4橋脚の掘削掘削仮置場から流用する計画でしょうか。	割掛対象表参考内訳書に関するご質問はお答えできません。なお、現場発生土や河床土は盛土材として流用できるものとお考え下さい。
50	割掛対象表	工事用道路	3期目の工事用道路⑥に使用する盛土材の流用箇所をご教示願います。	割掛対象表参考内訳書に関するご質問はお答えできません。なお、現場発生土や河床土は盛土材として流用できるものとお考え下さい。
51	特記仕様書	P23 落橋防止構造 アンカー工 P29 横変位拘束構造 アンカー工 P36 横変位拘束構造RCブロック アンカー工	本工事におけるアンカー工の歩掛は下記のいずれを想定されているでしょうか。 ①ネクスコP32-11「あと施工アンカー削孔工」 ②あと施工アンカー削孔工における積算基準（4週8休）（西日本高速道路株式会社） ③その他 ②の場合は何年度版であるか、③の場合は出典元をご教示願います。	発注者の積算は、③その他（土木工事積算基準第31編3-6-1 アンカー削孔工）を想定しております。

技術図書に関する質問に対する回答

件名	長野自動車道 山崎高架橋耐震補強工事			
番号	質問対象	質問箇所	質問事項	回答（発注者使用欄）
52	特記仕様書	P15 建設副産物の活用等	建設副産物の「建設混合廃棄物」の発生場所が「千曲川橋のP6橋脚～P8橋脚付近の仮締切工、作業ヤード」となっていますが、発生品は具体的に何を指しているのでしょうか。ご教示願います。	建設混合廃棄物の発生品は、大型土のう袋を想定しております。
53	特記仕様書	P55 鉄筋養生工費	施工再開時にモルタルを取り壊すことによる発生廃材とその処理区分は、下記の考えでよろしいでしょうか。 ①モルタル：がれき類 ②保護砂：建設発生土 ③型枠用合板：木くず ④溶接金網：金属くず ⑤鉄筋被覆材：廃プラスチック ⑥目地材：廃プラスチック 訂正があればご指示いただきたくご教示願います。	貴社の施工計画に基づきお考え下さい。
54	設計図	241～243/246 千曲川橋 施工計画図(その1～3)(参考図)	P2～P7にて「揚重作業16tラフタークレーン」の旗揚げがあります。この機材は、どの単価項目にて使用する想定でしょうか。ご教示願います。	発注者の積算は、鉄筋 T1及びT2で揚重作業16tラフタークレーンを使用することを想定しております。なお、本回答により契約上の工法を指定するものではございません。
55	設計図	243/246 千曲川橋 施工計画図(その3)(参考図)	P7橋脚に盛土するための3,870m ³ の土砂を21tブルで掘削押土、とあります。同時に施工する大型土のうに詰める河床土47m ³ については、以下のいずれを想定しているのでしょうか。 ①同じ場所から21tブルで掘削押土 ②その他 ③その他の場合は具体的な施工計画をご教示願います。	割掛対象表参考内訳書に関するご質問はお答えできません。なお、現場発生土や河床土は大型土のうに流用できるものとお考え下さい。
56	特記仕様書	P47 鉄道保安要員	鉄道保安要員の労務費に関して、基準書P25-10 9.労務費の算出、は適用されるのでしょうか。適用される場合、構成比の値はいくつでしょうか。ご教示願います。	貴社の施工計画に基づき必要な費用を計上して下さい。
57	特記仕様書	1.工事概要	本工事の施工箇所は、積算基準上の「豪雪地区」に該当しますか。	土木工事積算基準第5編5-1 積雪地域等における補正に記載の「積雪地域等」に該当いたします。
58	設計図	9/246他	構造物掘削の「盛土」と記載されている範囲について、当該箇所も「掘削」の設計数量に含まれていると考えてよろしいでしょうか。	そのとおりとお考え下さい。
59	設計図	9/246他	各橋脚の埋戻しについて、設計数量は現況復旧（設計図記載の盛土形状までの復旧）を想定しているかご教示ください。	そのとおりとお考え下さい。
60	特記仕様書	22-3 構造物掘削	「含水量の調整」との記載がありますが、積算上想定されている具体的な処理方法についてご教示ください。	散水または曝気による含水比の調整を想定しております。

技術図書に関する質問に対する回答

件名	長野自動車道 山崎高架橋耐震補強工事
----	--------------------

番号	質問対象	質問箇所	質問事項	回答（発注者使用欄）
61	特記仕様書	2-2-3 構造物掘削	<p>構造物掘削 特殊部A（夜2）における「ライナープレート建込み」について、設計積算上の計上区分をご教示ください。</p> <p>① 土木工事積算基準（深礎工法 ライナープレート建込み）による計上 ② 下水道設計等、他部局の積算基準による計上 ③ 見積りによる計上 ④ その他（特殊歩掛等）</p> <p>上記が「③ 見積り」の場合、設計上の採用単価（円/枚 または 円/m）をご提示ください。 また、「④ その他」の場合は、その算定根拠および取り扱いについて詳細をご教示願います。</p>	<p>発注者の積算は、① 土木工事積算基準第17編4-5-1 建込みを想定しております。</p>
62	特記仕様書	2-2-3 構造物掘削	<p>構造物掘削 特殊部A（夜2）における「ライナープレート撤去」について、設計積算上の計上区分をご教示ください。</p> <p>① 下水道用設計標準歩掛表による計上 ② 見積りによる計上 ③ その他（特殊歩掛、または建込み歩掛に対する一定率の計上等）</p> <p>上記が「② 見積り」の場合、設計上の採用単価（円/枚 または 円/m）をご提示ください。 また、「③ その他」の場合は、その算定根拠および取り扱いについて詳細をご教示願います。</p>	<p>発注者の積算は、① 下水道用設計標準歩掛表による計上を想定しております。</p>
63	特記仕様書	6-3 作業時間	<p>本工事の制約条件下における実作業時間は（夜1）180分、（夜2）230分と設定されています。 つきましては、当該項目における労務費の積算上の計上区分についてご教示ください。</p> <p>① 1日（全日）として計上 ② 0.5日（半日）として計上 ③ その他（特殊な時間当たり単価等）</p> <p>※「② 0.5日」での計上の場合、拘束時間や夜間特殊性を考慮した補正の有無についても併せてご教示願います。</p>	<p>貴社の施工計画に基づき必要な費用を計上して下さい。</p>
64	特記仕様書	6-3 作業時間	<p>本工事における実作業時間は、（夜1）180分、（夜2）230分と設定されており、標準的な作業時間に対して著しい制約があります。 つきましては、積算上の「時間的制約補正（日進量低減）」の適用区分についてご教示ください。</p> <p>① 補正なし（標準歩掛による計上） ② 補正あり（時間的制約による日進量補正を適用）</p> <p>上記が「② 補正あり」の場合、採用されている「作業効率係数（または補正係数）」をご教示願います。 また、当該補正が「労務・機械」の双方に適用されているか、併せてご確認願います。</p>	<p>貴社の施工計画に基づき必要な費用を計上して下さい。</p>

技術図書に関する質問に対する回答

件名 長野自動車道 山崎高架橋耐震補強工事				
番号	質問対象	質問箇所	質問事項	回答（発注者使用欄）
65	参考図	9 / 30	<p>設計図書における工事用道路・作業ヤードの切盛土数量を確認したところ、切土1,010.4m³に対し盛土1,515.4m³（103.4+1,320.0+92.0）となっており、約505m³の不足が生じています。 つきましては、この不足土の取り扱いについて、以下のいずれの想定であるかご教示ください。</p> <p>① 切土土砂を全量流用した上で、不足分（505m³）を「購入土（借土）」として計上済みである。 ② 本工事内の他（橋脚等）からの発生土を流用する計画である。 ③ その他（搬入元が別途指定されている等）</p> <p>上記が「①」または「③」の場合、土砂の搬入元（指定取土場など）および積算上の運搬距離についてご確認願います。</p>	<p>割掛対象表参考内訳書に関するご質問はお答えできません。 なお、現場発生土や河床土は盛土材として流用できるものとお考え下さい。</p>
66	参考図	9 / 30	<p>P8橋脚の仮締切2期施工において、中州から築堤を行う際、現況の流路を横断する計画となります。これに伴い発生する「瀬替え工（流路変更・仮排水路の設置）」について、以下の点をご教示ください。</p> <p>1. 当該「瀬替え」に関する費用は、どの単価項目に含まれていますでしょうか。 2. 設計上、瀬替えに必要な資材（大型土のう、管等）および施工歩掛は、直接工事費として別途計上されていますでしょうか。 3. 河川管理者等との協議により施工方法が変更となった場合、設計変更の対象と考えてよろしいでしょうか。</p>	<p>当該「瀬替え」は、想定しておりません。</p>
67	設計図	240 / 246	<p>上流中州からの押土による築造を計画しておりますが、通常60m程度に対し、平均延長100m程度のため、標準積算が適用外と考えられます。以下の点をご教示ください。</p> <p>1. 押土距離について： 設計積算上、上流中州からP7およびP8橋脚までの「平均押土距離」は何m程度を想定されていますでしょうか。また、その距離に基づき「ブルドーザー」等の機種選定や補正がなされているかご確認願います。</p> <p>2. 締切後の水替えについて： 仮締切完了後の水替え（初期排水および維持排水）について、設計上想定されている「ポンプの口径・台数」および「稼働日数（昼夜の別）」をご教示ください。 また、河川内作業における濁水処理の必要性についても、併せてご確認願います。</p>	<p>1. 貴社の施工計画に基づき必要な費用を計上して下さい。 2. 仮締切工A1、仮締切工A2、仮締切工Bについて、特記仕様書22-20-3の通り、仮締切完了後の水替え、濁水処理については、想定しておりません。</p>

技術図書に関する質問に対する回答

件名 長野自動車道 山崎高架橋耐震補強工事				
番号	質問対象	質問箇所	質問事項	回答（発注者使用欄）
68	参考図	9 / 30	<p>工事用道路④-1の構築または撤去に伴い発生する土砂の運搬について、以下の点をご教示ください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 当該土砂の運搬費用は、内訳書のどの単価項目、あるいは諸経費のどの割り掛け項目に含まれていますでしょうか。 2. 積算上想定されている、当該箇所の**「平均運搬距離（L）」および、「運搬機種（ダンプトラック等の規格）」**をご教示ください。 3. 現場内流用（横持ち）を想定されている場合、その積算上の具体的な移動経路（運搬先）についてもご確認願います。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 工事用道路④-1の構築・撤去は割掛項目の工事用道路費に計上しております。 2, 3. 割掛対象表参考内訳書に関するご質問はお答えできません。
69	参考図	10 / 30	<p>工事用道路⑥の構築に使用する盛土材について、以下の点をご教示ください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 調達先について： 当該盛土材は、本工事内の発生土（橋脚掘削等）の流用を想定されているのでしょうか、あるいは外部からの「購入土」を想定されているのでしょうか。具体的な調達先（取土場等）の想定をご教示ください。 2. 積算上の運搬条件について： 上記調達先から施工箇所までの「平均運搬距離」および「使用機種（ダンプトラック等の規格）」の積算条件を確認させてください。 3. 品質区分について： 道路構築にあたり、設計上想定されている盛土材の土質区分（礫質土、砂質土等）についてご教示願います。 	<p>割掛対象表参考内訳書に関するご質問はお答えできません。 なお、現場発生土や河床土は盛土材として流用できるものとお考え下さい。</p>
70	設計図	9 / 246	<p>規制図に「作業中通行止め」とありますが、夜間作業終了後の**非作業時間帯（昼間）**の扱いについて、以下2点をご教示ください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 毎作業終了後、施工機械・仮設資材をすべて撤去し、昼間は一般車両を**「全面開放」**する積算条件でしょうか。 2. 夜間開放にあたり、段差解消のための覆工板設置や仮舗装等の費用は設計に計上されていますでしょうか。 	<p>発注者の施工計画では、通行止め規制下で作業をした後、日々の作業終了後は設計図138/246のとおり片側交互通行規制を行い、通行止めを解除することを想定しています。このため、夜間開放のための覆工板設置や仮舗装の費用は計上していません。</p>
71	設計図	241 / 246	<p>千曲川橋の河川内作業において、現地状況（出水量）により設計想定を上回る大型ポンプの増設や昼夜連続稼働が必要となる可能性があります。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 設計積算上、想定されている水替えの「ポンプ規格・台数・稼働時間」をご教示ください。 2. 施工時の実出水量が設計想定を上回り、設備増強や濁水処理が必要となった場合は、実績に基づき設計変更の対象と考えてよろしいでしょうか。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 千曲川橋における構造物掘削では、土木工事積算基準第8編10-1通常の場合の水替費を想定しております。 2. 現地条件の変更等により、条件変更が生じた場合は、その費用について別途監督員と協議して定めるものとお考え下さい。

技術図書に関する質問に対する回答

件名		長野自動車道 山崎高架橋耐震補強工事		
番号	質問対象	質問箇所	質問事項	回答（発注者使用欄）
72	特記仕様書	2 2 - 2 0 仮締切工	<p>大型土のうの積算条件について、以下の2点をご教示ください。</p> <p>1. 製作区分： 設置箇所近傍での「現場製作」を想定されていますでしょうか。あるいは、別箇所で作成したものを搬入する「工場製品（または他箇所製作）」を想定されていますでしょうか。</p> <p>2. 運搬条件： 数量計算書等に「運搬」の記載がありますが、積算上の「運搬距離(km)」および「使用機種（ダンプトラック等）」をご教示ください。</p>	<p>1. 設置箇所近傍での「現場製作」を想定しております。</p> <p>2. 発注者の施工計画では大型土のうの運搬は想定していません。</p>
73	参考図	2 6 / 3 0	<p>河川内作業に使用する「仮係留用アンカー」について、以下の点をご教示ください。</p> <p>1. 当該アンカーの材料費および施工費（設置・撤去）は、内訳書のどの単価項目に計上されていますでしょうか。あるいは「共通仮設費（率）」に含まれる想定でしょうか。</p>	<p>見積対象に関わる項目のため、貴社の施工計画に基づき必要な費用を計上してください。</p>
74	参考図	2 6 / 3 0	<p>本工事で使用する「足場用ブラケット」について、以下の点をご教示ください。</p> <p>1. 当該ブラケットの材料費（損料）および施工費は、どの単価項目に計上されていますでしょうか。</p> <p>2. ブラケットの固定に「あと施工アンカー」等を使用する場合、その穿孔・アンカー費用および撤去後の穴埋め処理費用は、どの項目に含まれているかご確認願います。</p>	<p>見積対象に関わる項目のため、貴社の施工計画に基づき必要な費用を計上してください。</p>
75	参考図	2 6 / 3 0	<p>設計図面の水上仮設構台においてカニクレーンが艀装されていますが、当該機械の使用用途及び、費用（賃料・供用費等）の計上区分をご教示ください。</p>	<p>見積対象に関わる項目のため、貴社の施工計画に基づき必要な費用を計上してください。</p>
76	設計図	2 4 3 / 2 4 6	<p>3期で施工するP7・P8作業ヤードの「河床土」について、以下の2点をご教示ください。</p> <p>1. 河床土の調達（採取）場所： 当該ヤード構築に使用する河床土は、具体的にどの範囲（例：上流中州、または特定の掘削箇所等）からの採取を想定されていますでしょうか。</p> <p>2. 運搬条件および距離： 採取場所からヤード施工箇所までの「平均運搬距離(km)」および、積算上の「使用機種（ダンプトラック、ブルドーザー等）」をご教示ください。 また、河川内の仮設道路を走行する際の「走行性能補正」の有無についてもご確認願います。</p>	<p>1. 河床土の調達（採取）場所： P7作業ヤードについては、設計時243/246に記載の範囲を想定しております。 P8作業ヤードについては、見積対象に関わる項目のため、貴社の施工計画に基づき必要な費用を計上してください。</p> <p>2. 運搬条件および距離： P7作業ヤードについては、設計時243/246に記載の使用機種を想定しております。 P8作業ヤードについては、見積対象に関わる項目のため、貴社の施工計画に基づき必要な費用を計上してください。</p>

技術図書に関する質問に対する回答

件名 長野自動車道 山崎高架橋耐震補強工事				
番号	質問対象	質問箇所	質問事項	回答（発注者使用欄）
77	特記仕様書	22-5 鉄筋工	設計図面および特記仕様書において、組立用アンカーの材質指定が見受けられません。積算上、以下のいずれの材質を想定されているかご教示ください。 ① 黒皮（表面処理なし） ② めっき品（電気めっき または 溶融亜鉛めっき） ③ ステンレス製（SUS304等）	貴社の施工計画に基づきお考え下さい。
78	特記仕様書	22-5 鉄筋工	組立用アンカーに使用するアンカー鉄筋（M12）について、先端のねじ切り加工（L=20mm）が必要となります。当該加工費の積算上の取り扱いについて、以下のいずれかご教示ください。 1. 材料単価への内包： 加工済みの製品単価（または加工費加算済みの材料単価）として計上されていますでしょうか。 2. 歩掛への計上： 鉄筋工またはアンカー設置工等の歩掛において、現場加工手間（ねじ切り等）が考慮されていますでしょうか。 3. 別途計上： 「鉄筋加工費」等として、直接工事費の中に別途項目で計上されていますでしょうか。 加工費が計上されていない場合、見積りによる設計変更の対象と考えてよろしいでしょうか。	発注者の積算は、別途計上：「鉄筋加工費」等として、直接工事費の中に別途項目を想定しております。
79	特記仕様書	労務単価	本工事の積算に適用する労務単価について、令和7年3月公表単価または令和8年3月公表単価のいずれを使用しているのか、ご教示ください。	参考積算条件書に記載の単価ファイルの年月（令和7年10月）を採用しております。
80	設計図	設計図1/246 22-3. 構造物掘削普通B1, B2	千曲川橋P8橋梁の構造物掘削数量が1,605.8m3ですが普通部B1に含まれています。掘削土量が1,500m3以上なので普通部B2ではないでしょうか。各項目の設計数量と合わせて、ご教示願います。	特記仕様書22-3構造物掘削に記載の区分の通りお考え下さい
81	金抜設計書	構造物掘削 普通部B1	土木工事積算基準の第32編耐震補強工4-2構造物掘削数量において、「1箇所当りの施工土量は100m3程度まで」とされています。想定している歩掛をご教示ください。 ①第32編耐震補強工の構造物掘削 ②第8編構造物掘削の一般規模 ③その他	発注者の積算は、②土木工事積算基準第8編7. 一般規模機械構造物掘削を想定しております。
82	金抜設計書	構造物掘削 普通部B1	埋戻しの種別としては、「A2」であると考えてよろしいでしょうか。相違する場合、採用される種別をご教示ください。	埋戻しの種別は、「埋戻しB」を想定しております。
83	金抜設計書	構造物掘削 普通部B2	埋戻しの種別としては、「A2」であると考えてよろしいでしょうか。相違する場合、採用される種別をご教示ください。	埋戻しの種別は、「埋戻しB」を想定しております。
84	特記仕様書	構造物掘削 特殊部A（夜2）	「撤去したライナープレートの発生場所から処分場までの運搬、処分」とあり、ライナープレートは「新材」と記載されています。ライナープレートの単価は新材単価の90%を計上するお考えでしょうか、ご教示願います。	特記仕様書に誤りがございました。 「撤去したライナープレートの発生場所から処分場までの運搬・処分」は含めないものとお考え下さい。 上記については、交付図書を訂正いたします。

技術図書に関する質問に対する回答

件名	長野自動車道 山崎高架橋耐震補強工事			
番号	質問対象	質問箇所	質問事項	回答（発注者使用欄）
85	金抜設計書	構造物掘削 特殊部A（夜2）	ライナープレート施工部の掘削について、0.2m ³ バックホウによる施工を想定しているのでしょうか。相違ある場合、想定している使用機械をご教示ください。	そのとおりとお考え下さい。なお、本回答により契約上の工法を指定するものではありません。
86	金抜設計書	構造物掘削 特殊部A（夜2）	ライナープレート内の埋戻し、締固めはバックホウ+タンパによる施工と考えてよろしいでしょうか。相違ある場合、想定している使用機械をご教示ください。	そのとおりとお考え下さい。なお、本回答により契約上の工法を指定するものではありません。
87	金抜設計書	コンクリートA1-5	コンクリート工A1-5のシール材は諸経費に計上でしょうか、シール材をどの単価項目に計上するかご教示ください。	特記仕様書22-4-3に記載のとおり、シール材はコンクリートA1-5に計上して下さい。
88	金抜設計書	鉄筋T	フレア溶接D25までの単価は公表されていますが、フレア溶接（D29）の施工単価がありませんので、公表願います。	発注者の積算では、土木工事標準単価を想定しております。
89	特記仕様書	22-6. 縁端拡幅工	縁端拡幅工Bのシール材は縁端拡幅工に含まれるのか、ご教示願います。	縁端拡幅工Bにシール材はありません。
90	金抜設計書	縁端拡幅工B アンカーΦ45、Φ48	縁端拡幅工Bのアンカー工の数量がΦ45mmとΦ48mmの項目で10箇所分の差異があるので、正式な数量をご教示願います。	設計図に誤りがございました。金抜設計書を正としてお考え下さい。設計図187/246の鉄筋表に記載の規格について正しくは下記の通りです 誤：φ48, L=580 正：φ45, L=535 上記については交付図書を訂正いたします。
91	金抜設計書	落橋防止構造	既設桁部材の材質をご教示お願い致します。SM50YB（現：SM490）でしょうか。	既設桁部材の材質は以下でお考え下さい。 山崎高架橋（上り線） CA3橋台～PA0橋脚（鋼単純箱桁）：SM50YA 山崎高架橋（下り線） CB2橋台～CB3橋台（鋼単純箱桁）：SS41 CB4橋台～PB1橋脚（鋼単純箱桁）：SM50YA 千曲川橋（上下線） A1橋台～P2橋脚（2径間連続鋼箱桁） 下フランジ面：SS400、ウェブ面：SM490YA P9橋脚～A2橋台（単純非合成鋼箱桁）：SM490YA
92	特記仕様書	落橋防止構造	工場製作の運搬について、長野県庁から現場までの運搬距離と考えてよろしいでしょうか、ご教示願います。	発注者の積算は、そのとおりと考えております。
93	特記仕様書	22-6-2-2. 落橋防止構造 現場塗装	現場塗装費は昼間施工しかありませんので、夜（夜1）施工の労務単価の割増し係数をご教示願います。	貴社の施工計画に基づき必要な費用を計上してください。
94	金抜設計書	落橋防止構造 鋼製ブラケット	落橋防止構造で使用するアンカーボルトの製作について、想定している歩掛をご教示ください。 ①第15編鋼製橋の一般鉄骨構造の製作 ②第31編構造物修繕工の縁端拡幅工製作 ③その他	落橋防止構造で使用するアンカーボルトの材料費は、③その他（個別調査による見積価格）を想定しております。
95	金抜設計書	耐震補強用鋼板の輸送	輸送は長野県庁から現場までの運搬距離でしょうか。ご教示ください。	発注者の積算は、そのとおりと考えております。
96	金抜設計書	無収縮モルタル工	無収縮モルタル打設について、想定している基準をご教示ください、	発注者の積算は、土木工事積算基準第32編9-8耐震補強用モルタル注入工を準用することを想定しております。
97	特記仕様書	上部工補強A1, B1, B2, B3	上部工補強工A2, A2(夜2)には取り卸し場所から設置場所への部材の運搬がありますが、A1, B1, B2, B3には部材運搬の記載がありません。この個所での部材の運搬は無しなのか、ご教示願います。	特記仕様書22-15-3に記載のとおり、上部工補強工A1, B1, B2, B3については、部材の運搬は無いものと考えております。
98	特記仕様書	22-15. 上部工補強工	上部工補強工における現場塗装費は昼間施工しかありませんので、夜（夜1）施工の労務単価の割増し係数をご教示願います。	貴社の施工計画に基づき必要な費用を計上してください。

技術図書に関する質問に対する回答

件名		長野自動車道 山崎高架橋耐震補強工事		
番号	質問対象	質問箇所	質問事項	回答（発注者使用欄）
99	特記仕様書	22-15. 上部工補強工	上部工補強部材の数量について、補強部材は1ヶ所あたり2枚となりますが、1部材とは1ヶ所あたりの数ということでお考えでよろしいでしょうか、ご教示願います。	1部材とは、土木工事積算基準第31編3-8-1(8)に記載の「溶接等により各部材が一体化された部材」となります。
100	特記仕様書	22-13. 横変位拘束構造RCブロック	横変位拘束構造RCブロックにおける鉄筋探査工・コンクリート表面処理は、横変位拘束構造RCブロックのアンカー工に計上でよろしいでしょうか、もしくは計上先をご教示願います。	横変位拘束構造RCブロックにおける鉄筋探査工は、割掛項目の「鉄筋位置調査工A」、コンクリート表面処理は、契約項目の「耐震補強用コンクリート表面処理工 A」に計上しております。
101	金抜設計書	中間貫通鋼材工 φ80・2500 中間貫通鋼材工 φ80・2800	アンカー削孔について、適用機械はコアボーリングマシンによる削孔を想定されていますか。	そのとおりとお考え下さい。
102	金抜設計書	中間貫通鋼材工 φ80・2500 中間貫通鋼材工 φ80・2800	土木工事積算基準の第32編耐震補強工12-2コンクリート穿孔工において、「φ52mm」とされています。想定している歩掛をご教示ください。 ①第32編コンクリート穿孔工を準用 ②橋梁架設工事の積算を準用 ③その他（見積等）	発注者の積算は、③その他（日本コンクリート切断穿孔業協会「施工計画の手引き」コアドリリング工法）を想定しております。
103	金抜設計書	中間貫通鋼材工	中間貫通鋼材の溝形鋼（SS400）の「鋼部材の工場製作」について、「一般鉄骨構造の製作」で想定されていますか。相違する場合は、ご教示ください。	そのとおりとお考え下さい。
104	金抜設計書	中間貫通鋼材工	中間貫通鋼材の鋼板（PL）の「鋼部材の工場製作」について、「一般鉄骨構造の製作」で想定されていますか。相違する場合は、ご教示ください。	そのとおりとお考え下さい。
105	金抜設計書	中間貫通鋼材工 φ80・2500	コンクリート削孔（φ80, 2500mm）のどの歩掛使用しているかご教示願います。	発注者の積算は、日本コンクリート切断穿孔業協会「施工計画の手引き」コアドリリング工法を想定しております。
106	金抜設計書	22-16. 塗膜除去工	塗膜除去工Aにおける養生設備工は塗膜除去工に含めますか、ご教示願います。	塗膜除去工Aにおける養生設備工は割掛項目の剝離剤用養生設備工A・A（夜1）・Bで計上いたします。割掛対象表をご確認下さい。
107	金抜設計書	構造物取壊し工	コンクリート構造物取壊し（TypeA）について、処分費（無筋コンクリート殻・水道水）は経費控除の対象でしょうか。ご教示願います。	見積対象に関わる項目のため、貴社の施工計画に基づき必要な費用を計上してください。
108	特記仕様書	6-3. 作業時間 22-12. 交通保安要員	作業時間について夜間作業を行う場合、労務単価の割増し係数はいくらか、ご教示願います。	貴社の計画に基づき必要な費用を計上して下さい。
109	特記仕様書	22-12. 交通保安要員B	交通保安要員の配置時間について、「9:00～17:00（休憩含む）」との記載ですが、9:00の配置開始に向けた準備や、17:00配置終了後の後片付けに要する時間は、この8時間の中に含まれるという認識でしょうか。それとも、準備・片付けは別途必要（実質拘束9時間）との前提で、積算および現場管理を行うべきでしょうか、お考えをご教示願います。	「9:00～17:00（休憩含む）」には準備・片付け等に要する時間は含まれません。
110	特記仕様書	22-18. 鉄道保安要員	列車見張りAと線閉（線路閉鎖工事）作業員の労務単価（昼、夜1、夜2）およびそれぞれの資格の受講に要する費用は諸経費に含むと記載されています。この単価項目に含まれるというお考えでよろしいでしょうか、ご教示願います。	特記仕様書14-5-1に記載のとおり、諸経費に含まれます。

技術図書に関する質問に対する回答

件名 長野自動車道 山崎高架橋耐震補強工事				
番号	質問対象	質問箇所	質問事項	回答（発注者使用欄）
111	特記仕様書	22-18. 鉄道保安要員	特記仕様書22-18「鉄道保安要員」および22-18-3「配置時間」について、列車見張員および線路閉鎖責任者の配置人数が各1名となっていますが、単線区間での作業の場合、列車見張員は上下線の先方見張員各1名および現地見張員1名の計3名程度の配置が必要になると考えています。また、線路閉鎖時間帯における列車見張員配置の要否、線路閉鎖責任者による検電・接地器取付作業の可否、さらに工事管理者・工事安全専任管理者・停電責任者の配置要否および兼務の可否についてご教示ください。	特記仕様書14-5(3)に記載のとおり、鉄道管理者との協議等により、鉄道保安要員の配置人数が追加となる場合は、別途監督員と協議して定めるものとお考え下さい。
112	金抜設計書	22-18. 鉄道保安要員	列車見張員Aおよび線閉（線路閉鎖工事）責任者Aは公共工事設計労務単価に含まれていないため、見積採用の場合、これらの労務単価をご教示願います。	貴社の計画に基づき必要な費用を計上して下さい。
113	金抜設計書	仮締切工A 1	仮締切工A 1・A 2において、P 7・P 8 橋脚補強完了の築堤撤去はバックホウ1.0m3で行いブルドーザによる運搬をするということでしょうか、ご教示願います。	そのとおりとお考え下さい。
114	特記仕様書	仮締切工B	大型土のう工について、大型土のう製作用の土砂の掘削・運搬も含まれるということでしょうか、または山積み状態の土砂を使用して製作するということでしょうか、ご教示願います。	発注者の施工計画は、大型土のう設置箇所近傍の河床土を掘削し、大型土のうを製作することを想定しております。
115	特記仕様書	仮締切工B	仮締切工Bにおいて、撤去した大型土のうの土砂は運搬距離と土砂区分をご教示願います。	撤去した大型土のうの土砂は、近傍の河川内へ敷き均すことを想定しております。
116	特記仕様書	仮締切工B	大型土のう袋の運搬・処分について、計上しないと考えるとよろしいでしょうか。ご教示願います。	大型土のう袋の処分について、特記仕様書22-20-3に記載のとおり、計上するものとお考え下さい。
117	金抜設計書	仮締切工B	設計数量は地山数量または締め数量でしょうかご教示願います。	仮締切工Bの設計数量は、大型土のう袋の袋数となります。
118	割掛対象表	作業ヤード整備費A	P7作業ヤードにおいて大型土のうを製作する際、土は河床土を流用するのでしょうか。異なる場合、土運搬計画を具体的にご教示ください。	割掛対象表参考内訳書に関するご質問はお答えできません。なお、現場発生土や河床土は大型土のうの製作に流用できるものとお考え下さい。
119	金抜設計書	作業ヤード整備費A	1期目-工事用道路⑥で使用する土砂は、河川内土砂の流用を想定されていますか。相違する場合は、ご教示ください。	割掛対象表参考内訳書に関するご質問はお答えできません。なお、現場発生土や河床土は盛土材として流用できるものとお考え下さい。
120	金抜設計書	作業ヤード整備費A	3期目-工事用道路⑦-3で使用する土砂は、河川内土砂の流用を想定されていますか。相違する場合は、ご教示ください。	割掛対象表参考内訳書に関するご質問はお答えできません。なお、現場発生土や河床土は盛土材として流用できるものとお考え下さい。
121	割掛対象表	作業ヤード整備費A・B	1期目～3期目の大型土のうにおいて、撤去・処分（中詰土、大型土のう袋）を含んでいると考えてよろしいでしょうか、ご教示願います。	割掛対象表参考内訳書に関するご質問はお答えできません。
122	金抜設計書	作業ヤード整備・作業路整備	千曲川橋P7の構造物掘削において、掘削した土を利用し作業ヤードおよび斜路を製作する（設計図241/246）ように図示されています。そのため、掘削土は土砂仮置きヤードへの運搬および埋戻用の運搬は無しということでしょうか。また「はねつけ土」も作業ヤードの製作に使用するというのでしょうか、特記事項の内容を具体的にご指示願います。	設計書（金抜）及び設計図に誤りがございました。正しくは、千曲川橋P7橋脚の掘削土は掘削箇所近傍へはねつけするものとお考え下さい。なお、現場発生土や河床土は盛土材として流用できるものとお考え下さい。上記については、交付図書を訂正いたします。
123	割掛対象表	工事用道路費	千曲川（3期目）工事用道路⑥、⑦-3を新設する際、土は河床土を流用するのでしょうか。異なる場合、土運搬計画を具体的にご教示ください。	割掛対象表参考内訳書に関するご質問はお答えできません。なお、現場発生土や河床土は盛土材として流用できるものとお考え下さい。

技術図書に関する質問に対する回答

件名		長野自動車道 山崎高架橋耐震補強工事		
番号	質問対象	質問箇所	質問事項	回答（発注者使用欄）
124	割掛対象表	工事用道路費	特記仕様書に「1非出水期ごとに工事用道路の撤去を行うものとし、その撤去費用も含む」との記載があります。しかし、工事用道路を非出水期末に撤去した場合、次の非出水期に工事用道路を再度設置する際、必要となる盛土材（土量）が不足すると考えられます。（1期目の切土による余剰土量、2期目・3期目の盛土の不足）土運計画（土砂の保管場所、保管量、運搬方法、運搬距離、再利用の有無）について、具体的にご教示願います	割掛対象表参考内訳書に関するご質問はお答えできません。なお、現場発生土や河床土は盛土材として流用できるものとお考え下さい。
125	金抜設計書	率計上工事に関する事項	率計上工事に関する事項は、割掛項目にある見積対象以外の対象内容も対象金額として計上されていると考えてよろしいですか、ご教示願います。	特記仕様書22-21-3をご参照下さい。
126	参考図	参考図 26/30 千曲川橋（上下線）水上架設構台図	千曲川橋（上下船）水上仮設構台図には、組立台船に固定圧入アンカー（スパッド）が図示されていますが、図の台船の寸法（5280×5005）ですと固定圧入アンカーの設備は設置できません。固定圧入アンカーが必要ならば台船寸法・設備の再考が良いと思いますが、設計のお考えをご教示願います。	見積対象に関わる項目のため、貴社の施工計画に基づき必要な費用を計上してください。
127	参考図	参考図 26/30 千曲川橋（上下線）水上架設構台図	作業計画図では組立台船上にミニクレーンを設置することになっていますが、市場には1.7t吊りのクレーンが存在しません。このサイズの組立台船に仕様のミニクレーンを載せるのは安全上危険が伴いますので、サイズ・仕様の変更について協議変更の対象となりますでしょうか、ご教示願います。	見積対象に関わる項目のため、貴社の施工計画に基づき必要となる費用を計上してください。
128	参考図	参考図 26/30 千曲川橋（上下線）水上架設構台図	防舷材の取付が12基計上されています。この防舷材のサイズをご教示願います。また防舷材は陸上で取付する艀装作業に含まれると考えてよろしいでしょうか、ご教示願います。	見積対象に関わる項目のため、貴社の施工計画に基づき必要となる費用を計上してください。
129	参考図	参考図 11, 19, 26/30 千曲川橋（上下線）水上架設構台図	3期目のRC巻立て作業時（千曲川橋P8）、汚濁防止膜（オイルフェンス）の設置が図示してありません。また河床の掘削においてもそのような図示がされていないため、施工に際して汚濁防止膜は不要ということではよろしいでしょうか、ご教示願います。	見積対象に関わる項目のため、貴社の施工計画に基づき必要となる費用を計上してください。
130	割掛対象表	【仮設備工事費】 水上架設構台費	水上仮設構台費の引船(45PS)について、労務費（船員）を計上していますでしょうか。計上していない場合は変更協議の対象となりますでしょうか、ご教示願います。	見積対象に関わる項目のため、貴社の施工計画に基づき必要となる費用を計上してください。
131	割掛参考内訳書	【雑工事費】 鉄筋養生工費	鉄筋養生工費で記載されている鉄筋の防錆処理は、現場で防錆剤を塗布するというお考えでしょうか、それともエポキシ鉄筋樹脂を使用するというお考えでしょうか、ご教示願います。	割掛対象表参考内訳書に関するご質問はお答えできません。
132	割掛対象表	【雑工事費】 鉄筋養生工費	鉄筋養生工の型わく用合板の建込の準用基準はどれを想定しているか、ご教示願います。 ①型枠工（基準書.P13-20） ②横矢板工（基準書H27年度.P6-53） ③それ以外	割掛対象表参考内訳書に関するご質問はお答えできません。
133	金抜設計書	剥離剤用環境対策資機材費	簡易セキュリティルームの設置費用は見込んでいますでしょうか。ご教示願います。	貴社の計画に基づき必要な費用を計上して下さい。

技術図書に関する質問に対する回答

件名 長野自動車道 山崎高架橋耐震補強工事				
番号	質問対象	質問箇所	質問事項	回答（発注者使用欄）
134	特記仕様書	22-18. 鉄道保安要員	<p>鉄道保安要員 線閉（線路閉鎖工事）責任者A（夜1）29人・日について、特記仕様書22-18-2で、「1）き電停止作業時に検電、接地器の取付け、取外し及び保守を行うもの。</p> <p>2）線路を閉鎖し列車の通行を止め、安全確保を行うもの。」と記載されています。</p> <p>「鉄道保安要員線閉（線路閉鎖工事）責任者A（夜1）29人・日」の単価には、き電停止にかかる責任者や検電、接地器の取付け、取外等の作業費も含むのでしょうか。</p> <p>あるいはこの単価は線閉責任者のみで、それ以外に必要なが生じた場合は受注後の協議になるのでしょうか、御教示願います。</p>	<p>線閉（線路閉鎖工事）責任者A（夜1）の単価には、特記仕様書22-18-2に記載の作業内容を含むものと想定しております。</p> <p>ただし、特記仕様書14-5鉄道保安要員の配置（3）に記載のとおり、鉄道管理者との協議により、鉄道保安要員の配置人数が追加となる場合は、別途監督員と協議して定めるものとお考え下さい。</p>
135	金抜設計書	番号18. 19. 20. 21. 22. 23. 24. 25. 26. 27. 28. 29. 30. 31. 32 落橋防止構造	<p>部材の製作について、下記のうちどのように計上されていますでしょうか。</p> <p>ご教示ください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 土木工事積算基準 15-14頁 3-13 一般鉄骨構造の製作 2. 土木工事積算基準 31-26頁 3-4-2 (1) 縁端拡幅工Mの製作費 3. 特別調査 4. 上記以外 	<p>発注者の積算は、2. 土木工事積算基準31編3-4-2 縁端拡幅工Mの製作費（ロ）鋼上部工工事以外を想定しております。</p>
136	金抜設計書	番号38 横変位拘束構造M	<p>部材の製作について、下記のうちどのように計上されていますでしょうか。</p> <p>ご教示ください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 土木工事積算基準 15-14頁 3-13 一般鉄骨構造の製作 2. 土木工事積算基準 31-26頁 3-4-2 (1) 縁端拡幅工Mの製作費 3. 特別調査 4. 上記以外 	<p>発注者の積算は、2. 土木工事積算基準31編3-4-2 縁端拡幅工Mの製作費（ロ）鋼上部工工事以外を想定しております。</p>
137	金抜設計書	番号63. 64. 65. 66. 67. 68 上部工補強工	<p>部材の製作について、下記のうちどのように計上されていますでしょうか。</p> <p>ご教示ください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 土木工事積算基準 15-14頁 3-13 一般鉄骨構造の製作 2. 土木工事積算基準 31-26頁 3-4-2 (1) 縁端拡幅工Mの製作費 3. 特別調査 4. 上記以外 	<p>発注者の積算は、2. 土木工事積算基準31編3-4-2 縁端拡幅工Mの製作費（ロ）鋼上部工工事以外を想定しております。</p>
138	金抜設計書	番号71 無収縮モルタル工	<p>無収縮モルタル工は、「耐震補強用モルタル注入工」を準用されていますでしょうか。</p> <p>準用されている場合には、適用数量をご教示願います。</p> <p>準用されていない場合には、適用歩掛をご教示願います。</p>	<p>土木工事積算基準第32編9-8 耐震補強用モルタル注入工の準用を想定しております。</p>
139	割掛対象表	参考内訳書 鉄筋養生工費	<p>数量内訳の下記の使用材料の規格をご教示ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護モルタル ・保護砂 ・鉄筋被覆材 	<p>割掛対象表参考内訳書に関するご質問はお答えできません。</p>
140	割掛対象表	参考内訳書 鉄筋養生工費	<p>鉄筋養生工費において、鉄筋被覆材を使用することとなっております。</p> <p>発泡剤・ビニール被覆と明示されておりますが、当初の計画では、どのような材料で、どのような規格のものをお考えでしょうか。</p> <p>また、数量が箇所となっておりますが、具体的な数量をご明示願います。（m3、L、m2、m等）</p>	<p>割掛対象表参考内訳書に関するご質問はお答えできません。</p>